

ステアリングリモコン対応キット
(地デジチューナー追加用、切替えスイッチ付き)
トヨタ／ダイハツ／レクサス用

取り付け解説書



安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

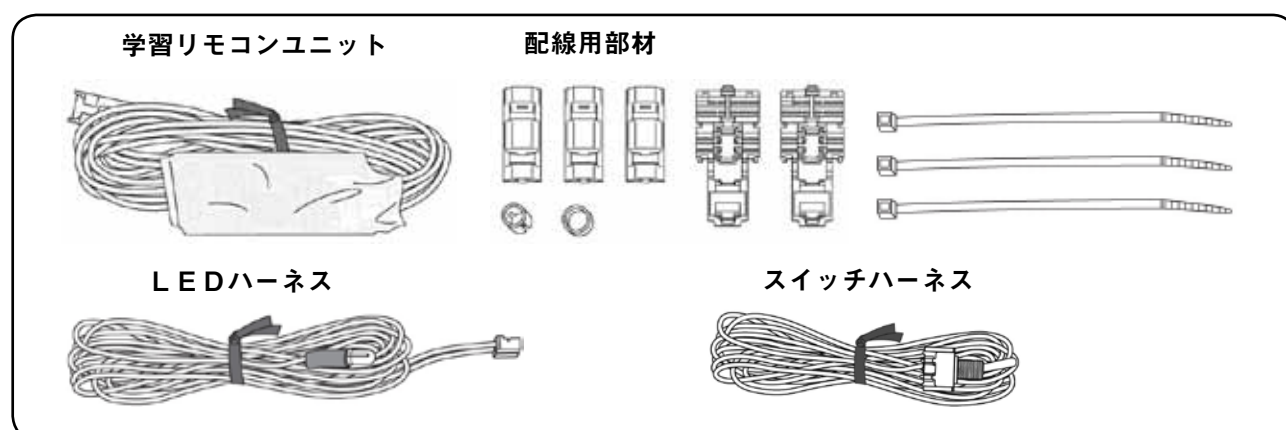
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両	5
取り付けに関する注意事項	5
取り付けの流れ	6
基本接続の方法	7
20極コネクタ図	9
26極コネクタ図	10
28極コネクタ図	11
切り替えスイッチ接続方法	11
LEDの設置位置は十分ご検討ください	14
設置後の確認	15
設定方法	16
トラブルシューティング	18

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 学習リモコンユニット | 1台 |
| 2. LEDハーネス、スイッチハーネス | 各1本 |
| 3. 取り付け解説書（本解説書） | 1部 |
| 4. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1部 |
| 5. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは5本の配線と、1つの赤外線LEDハーネス接続用コネクタが出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）です。添付品以外のワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

- | | |
|---|------------------|
| 黒 | (-) GND（車両アース） |
| 赤 | (+) +12V ACC 電源 |
| 黄 | (+) 基準電圧出力 |
| 桃 | (+) ステアリングスイッチ入力 |
| 茶 | (-) 未使用 |

※ LEDハーネス接続用コネクタには付属のLEDハーネスを接続します。

動作について

◇本製品は次の2つのモードがあります。

- ・学習（設定）モード

ユニットは、地デジチューナーの赤外線リモコンを解析・記憶します。

取り付け後、最初に行う必要があります

- ・通常使用モード

ステアリングスイッチのシークプラス又はシークマイナスボタンを押すと、赤外線LED部からリモコン信号を送信します。これにより後付け地デジチューナーのチャンネルを変更することができます。

MEMO

- ステアリングスイッチはシークプラスと、シークマイナスの2ボタンのみに地デジチューナーのリモコンコードを記憶できます。
- 純正ナビが地デジチューナーを映していない場合でも、ステアリングスイッチのシークプラス、シークマイナスを押すと地デジチューナーのチャンネルは変更されます。

取り付けできる車両

- ・純正ナビが取り付けられており、ステアリングスイッチが利用できる状態であること。
- ・後付け地デジチューナーに赤外線リモコンが付属していること。

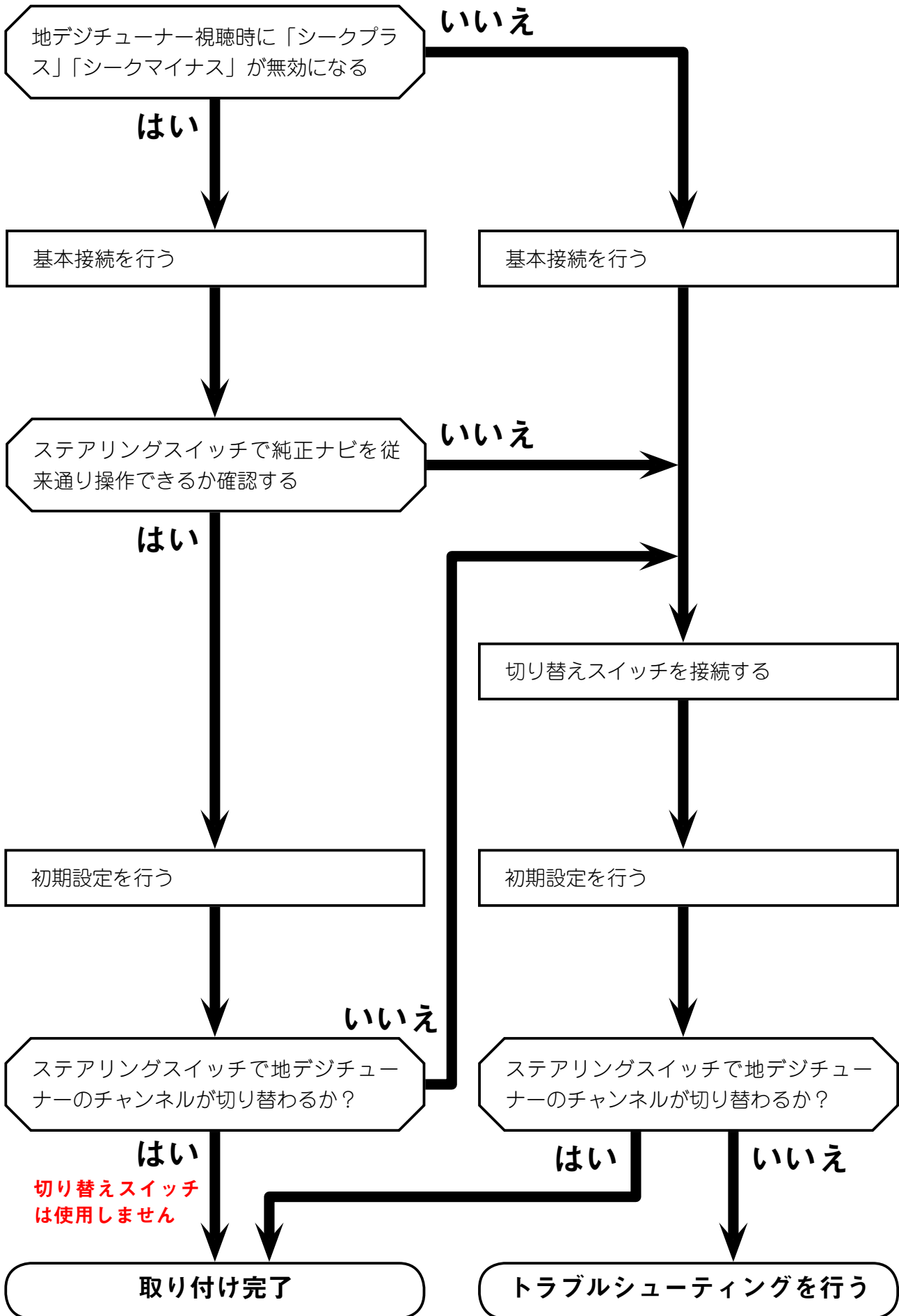
取り付けに関する注意事項

ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当方は一切責任を負いません。

また、赤外線発光LED部はお子様の手の届かない場所に取り付けてください。万が一お子様が口にくわえたりした場合、感電する危険があります。

本品はカーAVシステム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

取り付けの流れ



基本接続の方法

トヨタ／ダイハツ車の場合は配線の接続先を純正ナビ裏で行います。

1. 純正ナビ周りのパネルを取り外す

まずは純正ナビの外周のパネルを取り外します。通常ははめ込みだけで固定されているので、手前に引くと外れますが車種によってはネジ止めされている場合もあります。外し方が判らない場合は無理をせずにディーラー様へお尋ねください。

2. 純正ナビを取り外す

純正ナビを取り外します。通常は4本程度のビスで固定されており、簡単に外す事が出来るようになっています。

3. 本ユニットを接続する

次ページにあるコネクタ図のピン位置へ配線を接続します。

4. 純正ナビの動作を確認する

本ユニットを接続した状態でも、従来通り純正ナビをステアリングスイッチで操作できることを確認しておきます。

※従来通り操作できない場合は、切り替えスイッチを取り付けます。

5. 初期設定を行う

後付け地デジチューナーのリモコンを使用して初期設定を行います。

※初期設定時は、ユニット本体にあるセンサーにリモコン信号を送信する必要がありますので、本体を収納してしまう前に行ってください。

※ステアリングスイッチを押していないのに学習モードになってしまう場合や、ステアリングスイッチのボタンが誤認識されてしまう場合は、切り替えスイッチを取り付けます。

MEMO

※コネクタのピン位置をよく確認して接続を行ってください。

※添付のワンタッチコネクタ以外を使用される場合は、適合線径をよく確認してください。

MEMO

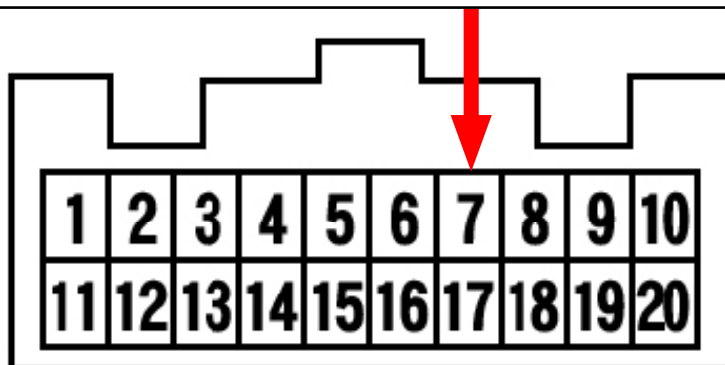
A series of 25 horizontal dashed lines for writing.

トヨタ / ダイハツ / レクサス 20極コネクタピン配置図

■ステアリングスイッチ信号コネクタが20極の場合は下記の様に接続します。殆どのトヨタ車ではこのコネクタを採用しています。

■純正マルチの場合は、最下段にあるオーディオ裏に位置しています。

20極コネクタ 7番 ステアリングスイッチ信号 桃を接続



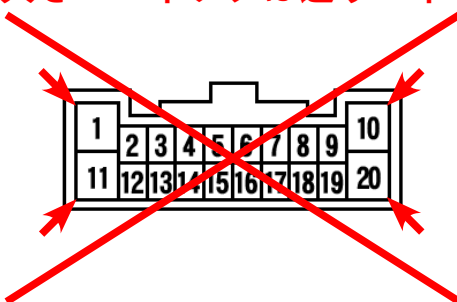
※手前側が、コンタクト側（配線は向こう側）です

ユニットの線色と接続先

- 茶 未 接 続（ビニルテープ等で絶縁処理してください）
- 黄 未 接 続（ビニルテープ等で絶縁処理してください）
- 桃 20極コネクタの7番へ接続する
- 赤 アクセサリー電源へ接続する（上図参照）
- 黒 ボデーアース（確実にアースされる場所）へ接続する

ご 注 意

■20極コネクタが2種類ある場合、四隅の端子が大きいコネクタは違うコネクタです



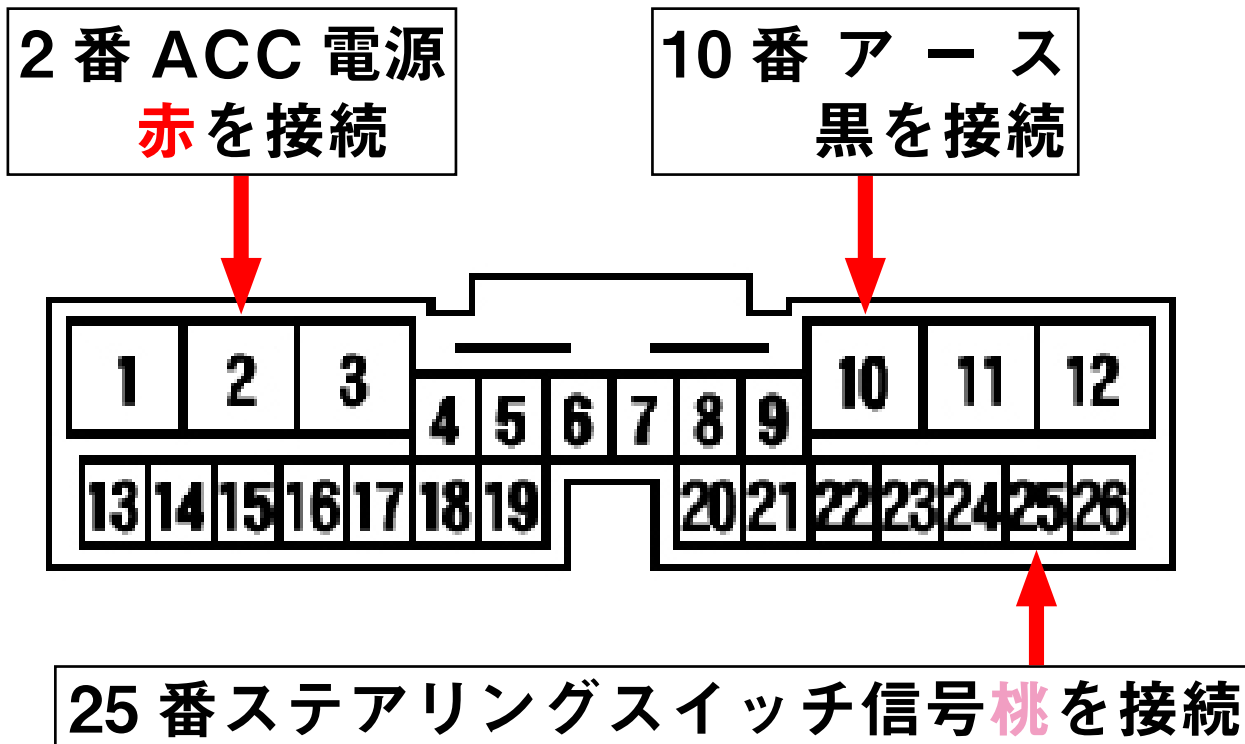
MEMO

- ※ACC電源線（赤）は常時電源に接続しないでください。
- ※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続する場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

トヨタ26極コネクタピン配置図

■26極コネクタ採用車では、下記の様に接続します

■純正マルチの場合は、前ページにある20極コネクタである場合が殆どです。
純正マルチの最下段を見て20極コネクタの有無を確認してください。



※手前側が、コンタクト側（配線は向こう側）です

ALCONの線色と接続先

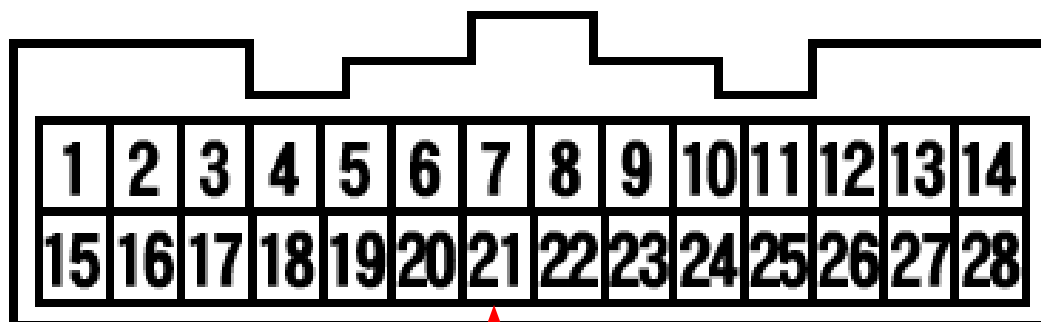
- | | | | | |
|---|----|---|-----------|----------------------|
| 茶 | 未 | 接 | 続 | （ビニルテープ等で絶縁処理してください） |
| 黄 | 未 | 接 | 続 | （ビニルテープ等で絶縁処理してください） |
| 桃 | 26 | 極 | コネクタの25番へ | 接続する（上図参照） |
| 赤 | 26 | 極 | コネクタの2番へ | 接続する（上図参照） |
| 黒 | 26 | 極 | コネクタの10番へ | 接続する（上図参照） |

MEMO

- ※ACC電源線（赤）は常時電源に接続しないでください。
- ※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続する場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

トヨタ 28 極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが10極+6極+28極の場合は下記の様に接続します（120系ラクティス等）。



28 極コネクタ 21 番 ステアリングスイッチ信号 桃を接続

※手前側が、コンタクト側（配線は向こう側）です

ユニットの線色と接続先

茶	未	接	続	（ビニルテープ等で絶縁処理してください）
黄	未	接	続	（ビニルテープ等で絶縁処理してください）
桃	28	極	コ	ネクタの21番へ接続する（上図参照）
赤	ACC	電	源	へ接続する
黒	ボデー	アース	（確実にアースされる場所）	へ接続する

MEMO

- ※ACC電源線（赤）は常時電源に接続しないでください。
- ※誤作動の原因となりますので、アース線（黒）の接続は確実に行ってください。
- ※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続する場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

切り替えスイッチ接続方法

地デジチューナー視聴時にステアリングスイッチの「シークプラス」「シークマイナス」が無効になっていない場合や、基本接続では純正ナビが誤作動してしまう場合に、切り替えスイッチを取り付けます。

※作業前に「取付けの流れ」を参照し、スイッチ取り付けが必要か否かを確認してください

1. 基本接続を行う

基本接続が完了していない場合は、先に基本接続を行ってください。

2. 本製品の桃線を外す

既に接続している桃線を一旦外します。

3. 車両のステアリングスイッチ線を切断する

桃線を接続していた車両側のステアリングスイッチ信号線を切断します。

4. アルコンの配線を加工する

アルコンの桃線に黄線を接続します。

5. 切り替えスイッチを接続する

次ページを参照して切り替えスイッチを接続します。

6. 初期設定を行う

後付け地デジチューナーのリモコンを使用して初期設定を行います。

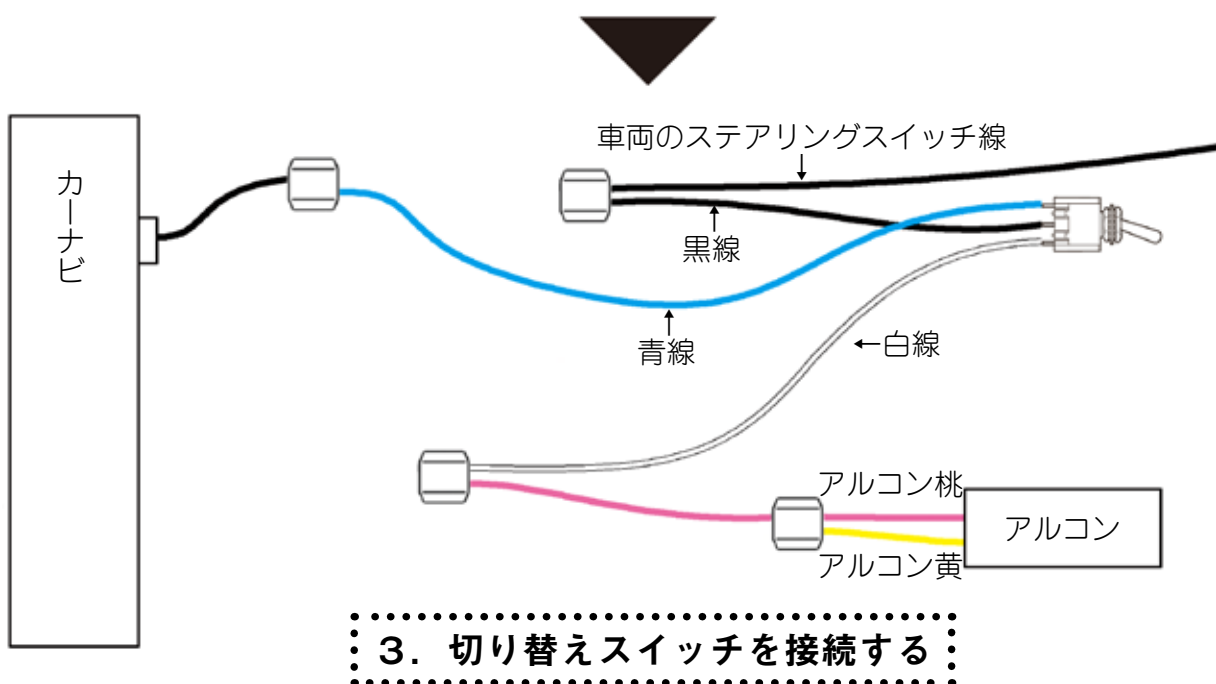
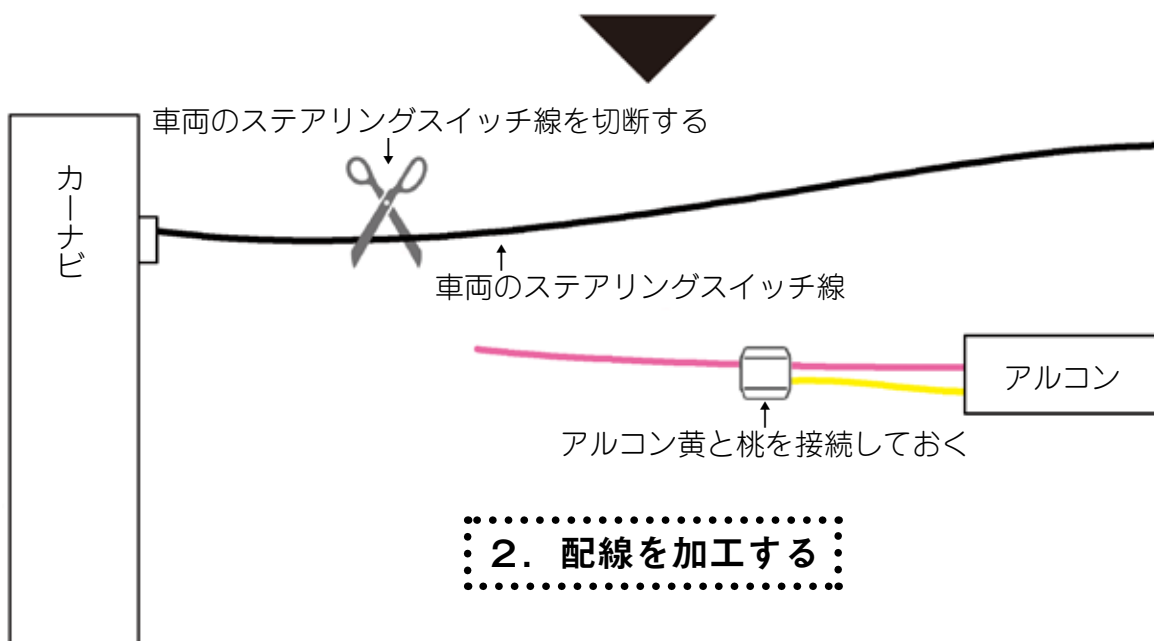
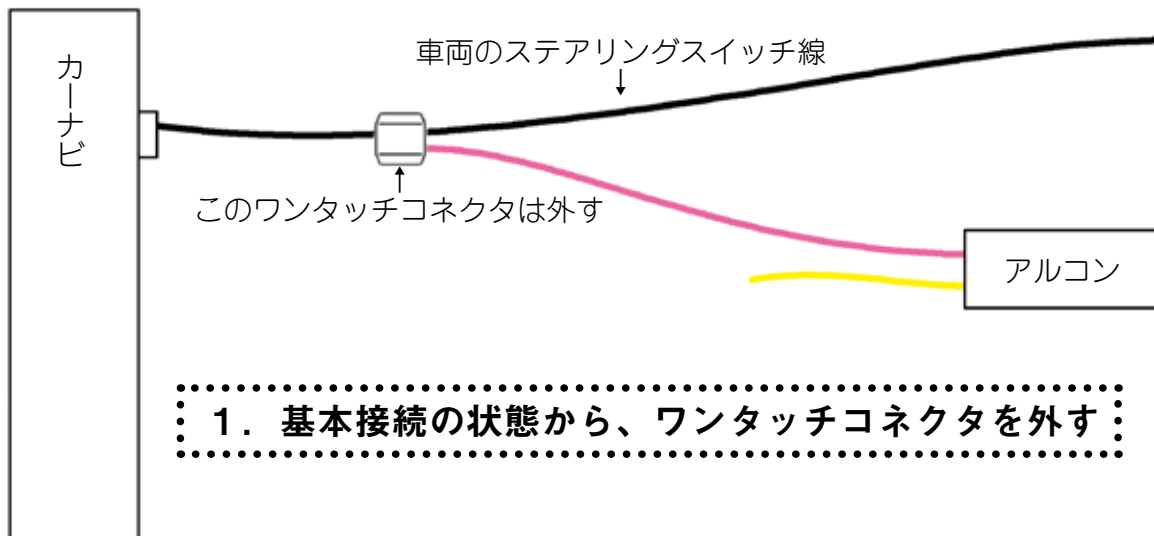
※初期設定時は、ユニット本体にあるセンサーにリモコン信号を送信する必要がありますので、本体を収納してしまう前に行ってください。

MEMO

※配線の色をよく確認して接続を行ってください。

※添付のワンタッチコネクタ以外を使用される場合は、適合線径をよく確認してください。

切り替えスイッチ接続方法



LEDの設置位置は十分ご検討ください

本ユニットは黒 / 黒灰コード先にある「赤外線 LED」部から赤外線リモコンと同じ「光」信号を出力し、後付け地デジチューナーを操作しています。赤外線 LED は視野角が狭く、ご家庭でテレビのリモコンを操作するときのように、操作の対象となる機器に向けないと動作しなかったり反応が鈍くなったりしますので、**設置位置 / 角度は十分検討してください。**

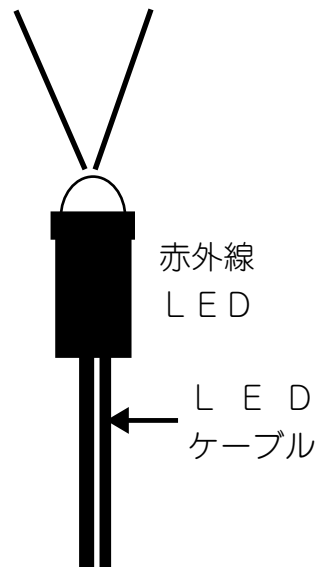
MEMO

※赤外線 LED が出力している光は目に見えません。カメラには映りますので、実際に視野角を目視で確認するには、デジカメか携帯電話のカメラの液晶ファインダーで確認してください。

※赤外線は反射する時に大きく減衰します。設置位置は次のポイントに注意してください。

- 1. 操作の対象となる機器の間に遮蔽物しゃへいが無いこと**
- 2. なるべく直接光で操作できる設置を選択すること**
- 3. 添付の LED 固定部品を使用すると、LED の頭部が固定部品に少し埋まるため指向特性が狭くなりますので、ご注意ください**

指向特性は約 30 度です



設置後の確認

- ◇ユニット本体の配線が終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認してください。確認したらキーを差し込み、**ステアリングスイッチを押さずにACC電源をON**にします。このとき、本体基板上の赤色LEDが点滅⇒点灯することを確認してください。
- ◇ステアリングスイッチを操作し、従来通り純正ナビが操作できることを確認してください。
- ◇続いて初期設定を行います。ユニット本体は**初期設定が完了するまでは手元に引き出して**おいてください。
 - ※設定内容をたびたび変更する可能性がある場合は、ユニット本体を「いつでも見える場所」や、「容易に引き出せる場所」に設置してください。
- ◇初期設定が終わったら、ユニット本体をカーナビ裏の配線の束等にビニールテープ等で固定してください。ビニールテープ等をあまり強く巻きついたり、カーナビ本体と干渉する位置取り付けたりしないでください。ユニット内部の部品が破損したり変形してショートする危険があります。
- ◇赤外線LED部は後付け地デジチューナーの赤外線受光部へ向けて設置します。
 - ※赤外線LEDは指向性が高い性質があります。真正面以外では信号が大きく減衰しますので、**なるべく受光部へ向けた状態で設置してください。**

MEMO

※赤外線LED部の熱収縮チューブ部分は無理な力をかけたり、大きく曲げたりしないでください。赤外線LED内部が断線し、故障の原因となります。

設定方法

シークプラス⇒シークマイナスの順に設定を行ってください。

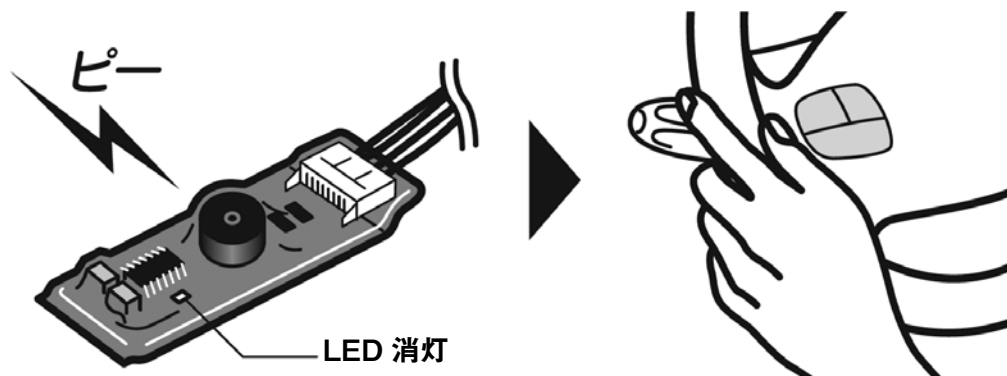
1

ステアリングスイッチの「シークプラス」又は「シークマイナス」ボタンを押しながらキーをACCに廻します（プッシュスタート式の場合はブレーキを踏まずにスタートボタンを押します）。



2

長いビープ音が1回鳴り、本体上にあるLEDが消灯したらステアリングスイッチのボタンを離します。



3

10秒以内に本体上にある受光部へ地デジチューナーの赤外線リモコンを向けて、学習させたいボタンを押します。



※長いビープ音が2回鳴るまで押し続けてください。
※同時に本体上にあるLEDが2回点滅します。

設定方法（続き）

4

地デジチューナーの赤外線リモコンから一旦指を離し、再度同じボタン（地デジチューナーの赤外線リモコンのボタン）を押します。

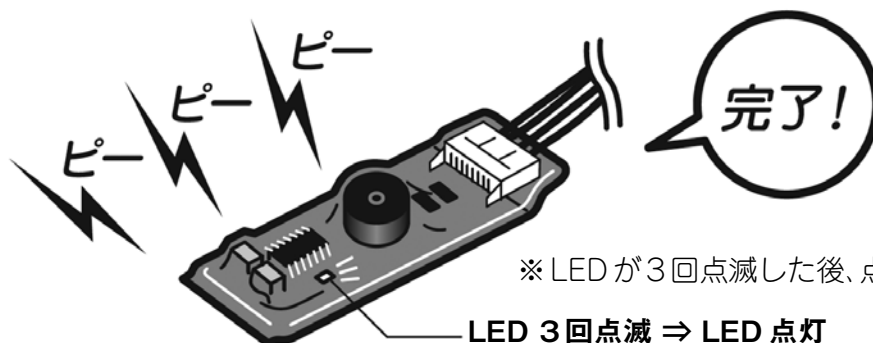
※長いピープ音が3回鳴るまで押し続けてください。



5

以上で学習作業は完了です。学習作業はステアリングスイッチの「シークプラス」「シークマイナス」の順に行ってください。

※「シークプラス」ボタンを学習させた後は、キーを一旦OFFにしてから「シークマイナス」の設定を行ってください。



※LEDが3回点滅した後、点灯します。

LED 3回点滅 ⇒ LED点灯

◇学習が終了したら赤外線LEDを地デジチューナーの受光部へ向け、ステアリングスイッチを押すと操作できることを確認してください。

※短いピープ音が5回鳴った場合は学習失敗です。トラブルシューティングを参照して原因を特定してください。

※学習時にあまりユニットとリモコンを近づけないでください。ユニットとリモコンは10cm以上離して学習してください。

※シークプラスボタンを学習させると、シークマイナスの設定が消去されます。必ず、シークプラスボタンを先に学習させてからシークマイナスボタンを学習させてください。

※手順4でリモコンのボタンを押してもピープ音が鳴らない場合は、リモコンのボタンを一旦離し、再度同じボタンを押してください。

トラブルシューティング

ステアリングスイッチを押さずに ACC をオンにすると学習モードになる

1. 設定作業を行ってください。設定後も同じ現象になる場合は、切り替えスイッチの取り付けを行ってください。

ステアリングスイッチの1ボタンのみしか学習できない

1. シークマイナスボタンの設定作業を行ってください。設定後も同じ現象になる場合は、切り替えスイッチの取り付けを行ってください。
2. 設定する順番を間違っていないですか？
シークプラスボタンを学習させると、シークマイナスボタンが消去される仕組みになっています。必ずシークマイナスボタンを最後に学習させてください。
3. 本製品がコード類が沢山ある場所に設置されていませんか？
リモコンユニット本体の周りにコード類が沢山ある場合、光信号が乱反射して正しく学習できないことがあります。ユニット本体を手元に引き出して、学習作業を行ってみてください。

学習が失敗する（短い音が5回鳴って失敗する場合）

1. 本ユニット本体が目視できない程奥に設置されていませんか？本体を手元に取り出して、学習作業を行ってください。
2. 学習時に地デジチューナーの赤外線リモコンを向ける先を間違っていないか？**地デジチューナーの赤外線リモコンは本ユニット本体に向けて**操作してください。もし、本ユニット本体の設置が完了しており、目視できない位置にある場合は再度取り出してから学習してください。なお、**白／黒コード先についている豆状の部品は赤外線LED**です。
3. 学習作業を行う際に時間がかかっていませんか？学習操作をして長いブープ音が鳴ってから10秒以内に赤外線リモコンを操作しないと、ブープ音が5回鳴って学習モードが終了します。その場合は10秒以内に学習させるようにしてください。
4. 学習手順を間違っていないか？学習時に学習させたい赤外線リモコンのボタンを押すタイミングで間違えてステアリングスイッチのボタンを押すと学習できません。押す手順は「**ステアリングスイッチ**」⇒「**地デジチューナーのリモコン**」⇒「**地デジチューナーのリモコン**」です。

学習が失敗する（リモコンのボタンを押しても長いビーブ音が鳴らない場合）

1. LEDのフットランプ等が近くにありませんか？
LEDのランプはパルス制御で光量制御しているものが多く、赤外線リモコンと干渉します。学習時にはLEDのランプ類は消灯しておいてください。
2. カーナビの画面の光が直接ユニット本体にあたっていますか？
一部のカーナビの液晶画面に使用されているバックライトが学習作業時の赤外線信号に悪影響を及ぼすことが確認されています。液晶画面の光の影になるような位置にユニット本体を置き、再度学習作業を行ってください。
3. すべて確認しても学習が失敗するときはそのリモコンを学習することができない可能性があります。
※海外製の地デジチューナーは学習できない場合があります。

学習が失敗する（正常に学習が完了するが、機器を操作できない場合）

1. 学習リモコンユニット本体の周りにコード類が多数ありませんか？
コード類の奥にユニット本体を設置すると、赤外線リモコンの光が乱反射して、正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

ステアリングスイッチでカーナビを操作しても反応が鈍い

1. 日中に反応が鈍くなる場合は、赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。
2. いつも反応が鈍い場合は赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。赤外線LEDを手で持って直接カーナビに向けてステアリングスイッチを操作しても反応が鈍い場合は、リモコン信号の学習に失敗しています。コード類の奥にユニット本体を設置すると、学習時に赤外線リモコンの光が乱反射して、正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

純正ナビが従来通り操作できない

1. ステアリングスイッチで従来通り純正ナビを操作できなくなった場合は、配線の接続が間違っている可能性があります。もう一度確認を行ってください。解消しない場合は切り替えスイッチを取り付けてください。

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GPS-TAF07SW	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南3丁目7-11 電話 06-6131-6300